

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス茅ヶ崎エメロード教室		
○保護者評価実施期間	2025.年2月5日		～ 2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	75	(回答者数) 55
○従業者評価実施期間	2025年2月17日		～ 2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ハッピーテラス茅ヶ崎エメロード教室(多機能型事業所・就学前児童/中高生)とハッピーテラス茅ヶ崎駅前教室(小学生)と連携して、子供たちに最長15年にわたり、居場所としての機能、保護者とともに子供の成長に寄与している。	小学校入学、中学校入学、高校入学、就職進学など子供の節目に、子供にも保護者にも良き相談場所としての機能の充実。進学先・就職先、グループホームなどの情報の提供。	教室間の交流。 就労支援事業所などの情報交換などしていく。
2	グループワークによるコミュニケーション力の育成のための、ソーシャルスキルトレーニング。	生活スキル(挨拶や身だしなみ、買い物など)を実体験を通じて、できる限りリアル(場所/物)にトレーニングに取り入れている。 社会性スキル(人のかかわり方など)は特に注力して、職員はトレーニングのみならず、自由時間において子供たちのかかわりを大切にしている。	年代にあったプログラムの作成。 イベントや美術館企業訪問など、できる限る実社会との交流機会を作る。
3	専門的な視点で、日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子供の発達や課題に対して共通課題を持っている。	お迎えのある保護者には、トレーニングの内容やその日の様子をお伝えし、こどもの発達の状況や課題について共有している。お迎えのない保護者にはハッピーテラス通信にて報告している。	子供との課題の共有においては、保護者のみならず関係機関(児童相談所・市町村・学校など)と定期的にカンファレンスに参加していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時発生のマニュアルや教室の備蓄などについて保護者に周知ができていない場合がある。	契約時の重要事項説明書を説明する際に、非常時の対応、避難訓練の有無などについては説明をしているが、保護者が実際の訓練に参加していないのでイメージしにくい。	保護者に避難訓練の様子を通信にて周知し、理解していただく。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催等により、保護者同士の交流の機会があまり開催していない。	保護者が他の保護者との交流を望んでいない家庭も多く、保護者同士の交流する機会が少ない。	参加希望の保護者には、交流の機会を設けていきたい。
3	ホームページやinsutagramなどSNSを活用して発信はしているが、なかなか認知されていない。	保護者に関心のある内容や、見ていて楽しいデザインや映像ができていない。	専門家などの助言などをしてもらい、定期的に更新していく。